

Microsoft Teams

Workplace Awards

管理者ガイド

改定履歴			
版	章	日付	変更内容
1.0	すべて	2020/09/09	初版

1. はじめに.....	4
2. 前提条件.....	5
2-1. MICROSOFT 365 E3/E5 のライセンス.....	5
2-2. MICROSOFT AZURE のサブスクリプション.....	5
3. 使用開始の手順.....	7
3-1. リソースグループの作成	7
3-2. アプリの登録.....	9
3-3. クライアントシークレットの作成	10
3-4. カスタムデプロイ.....	12
3-5. 認証の設定	14
3-6. ZIP ファイルのダウンロード.....	19
3-7. MANIFEST.JSON の書き換え.....	19
3-8. MICROSOFT TEAMS へのアップロード.....	22
3-9. チャンネルへの追加.....	24
4. デプロイが失敗したとき場合の対処	25
5. よくある質問.....	28

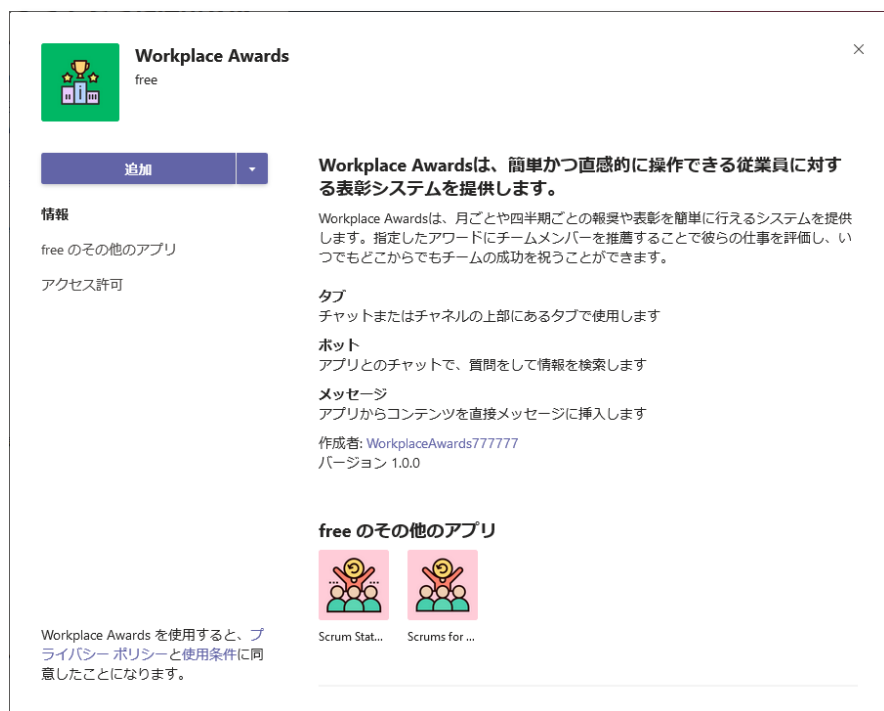
1. はじめに

Workplace Awards アプリは、Microsoft Teams のチーム上にボットとタブを追加して使用する、従業員表彰プログラムを提供するアプリケーションです。

生産的な組織の多くは従業員の士気を高めるため、従業員表彰プログラムを採用しています。このようなプログラムは業務を支える従業員を惹きつけるだけでなく、組織の生産性・競争力・収益性、製品やサービスの品質・安全性・顧客サポートの質を向上させ、従業員のストレス、欠勤、離職率の軽減にもつながります。

Workplace Awards アプリによって、シンプルかつ直感的な方法で、チーム内の従業員の表彰プログラムを設定・管理することができます。チーム内の従業員は、アプリ上で、チームメンバーを簡単にアワードにノミネート（推薦）したり、他のメンバーによってノミネートされたメンバーを支持したりすることができます。表彰プロセスのオーナー（アワードキャプテン）は、ノミネートされたメンバーを確認し、賞を授与することができます。Workplace Awards は、アワードの設定やメンバーの推薦など、表彰プログラムに不可欠な枠組みを機能として提供します。

本文書は、すでに英語で公開されている Workplace Awards を日本語版にローカライズしてリリースするにあたり、日本語で Workplace Awards を組織の Microsoft Teams に展開する管理者向けに執筆されたマニュアルです。Workplace Awards を業務で使用する際の操作手順に関しては、ユーザー向けの利用者マニュアルをご確認ください。



2. 前提条件

2-1. Microsoft 365 E3/E5 のライセンス

Scrums for Channelsを使用するには

Microsoft 365 E3 または **Microsoft 365 E5** のライセンスが必要です。

¥3,480 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>	¥6,200 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>	¥1,090 ユーザー/月相当 (年間契約) <small>価格には消費税は含まれていません。</small>
Microsoft 365 E3	Microsoft 365 E5	Microsoft 365 F3
クラス最高の生産性向上アプリに大企業のための中核的なセキュリティとコンプライアンスの機能を組み合わせました。	クラス最高の生産性向上アプリに加えて大企業のための高度なセキュリティ、コンプライアンス、音声通信、分析の機能を利用できます。	旧称 Microsoft 365 F1。現場の最前線で働く従業員が最高の仕事をするための力となる、生産性向上アプリとクラウドサービスを集めました。
ご購入前の相談窓口 詳細情報 >	ご購入前の相談窓口 詳細情報 >	ご購入前の相談窓口 詳細情報 >

2-2. Microsoft Azure のサブスクリプション

Scrums for Channelsを使用するには、Microsoft Azure のサブスクリプションが必要です。サブスクリプションがない場合は、下記の手順に沿ってサブスクリプションを購入します。

※ここでは Azure 無料試用版のサブスクリプションの開始手順を説明しますが、無料試用版についてくる 200 ドル分の無料クレジットを消費した後も Scrums for Channels の使用を継続する場合は、有償版の Azure サブスクリプションにアップグレードする必要があります。

1. <https://portal.azure.com/> にアクセスする。
2. サインインしたら右の画面が表示される。「Azure の無料試用版から開始する」「Azure の無料試用版から開始する」の「開始」をクリックする。



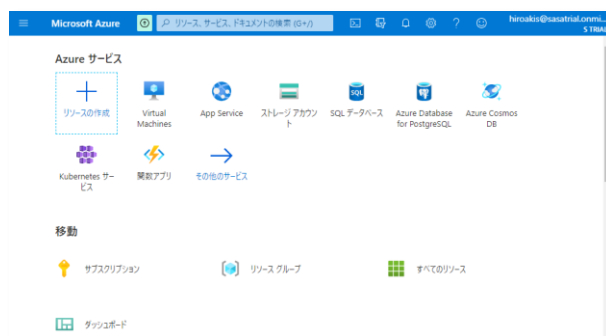
3. 画面表示に従って[自分の情報][電話による本人確認][カードによる本人確認][アグリーメント]の各項目を入力する。



4. すべての項目を入力し「サインアップ」をクリックすると、右の画面に移動する。「ホーム」をクリックする。



5. 右の画面が表示されれば Azure サブスクリプションの準備は完了となる。



3. 使用開始の手順

アプリの登録の全体の流れは下記のとおりです。

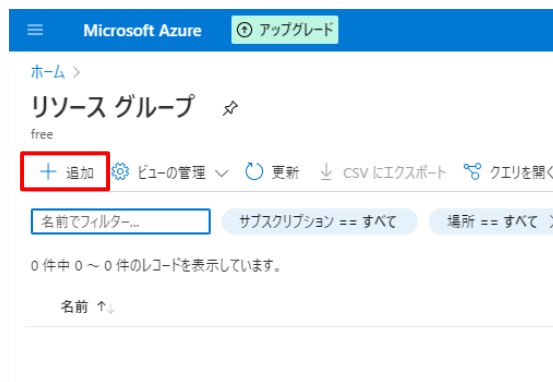


3-1. リソースグループの作成

1. <https://portal.azure.com> にアクセスし、自分の Azure サブスクリプションにサインインする。
2. 「リソースグループ」をクリックする。



3. 「追加」をクリックする。



4. 項目を入力して「確認および作成」をクリックする。

リソースグループには任意のリソースグループ名を、リージョンには該当する地域を入力する。

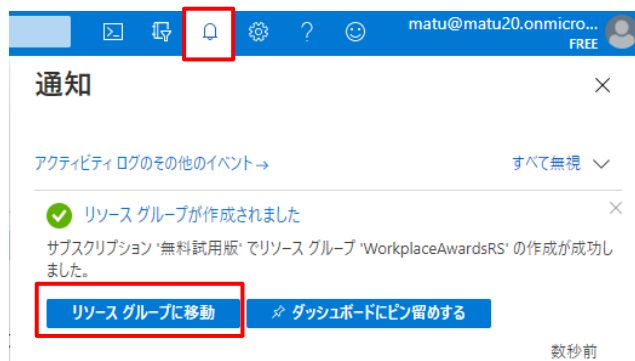
※サブスクリプションでは契約している Azure のサブスクリプションを選択してください。



5. 検証が開始される。検証に成功したら「作成」をクリックする。



6. 画面右上の通知（ベルのアイコン）を開くと、リソースグループが作成されたという表示が出る。「リソースグループに移動」をクリックすると作成したリソースグループの画面が開き、作成が完了していることが確認できる。



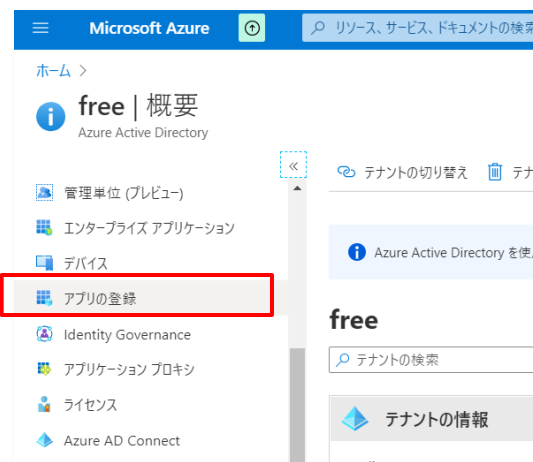


3-2. アプリの登録

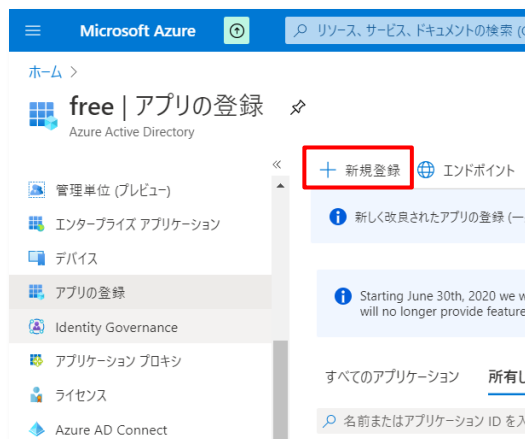
1. <https://portal.azure.com> にアクセスし、自分の Azure サブスクリプションにサインインする。



2. 「Azure Active Directory」をクリックし、左のメニューから「アプリの登録」をクリックする。



3. 「新規登録」をクリックする。



4. 登録画面が開くので「名前」と「サポートされているアカウントの種類」を指定する。
「名前」はアプリの表示名として任意の文字列を、「サポートされているアカウントの種類」は2番目の「任意の組織ディレクトリ内のアカウント（任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント）」を選択する。
「登録」をクリックする。

5. アプリが登録されると、アプリの詳細画面に移動する。ここで**アプリケーション(クライアント)ID** をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。（後の手順で使用する。）

ホーム > free > アプリケーションの登録

* 名前
このアプリケーションのユーザー向け表示名 (後で変更できます)。
Workplace Awards

サポートされているアカウントの種類
このアプリケーションを使用したりこの API にアクセスしたりできるのは誰ですか?
☐ この組織ディレクトリのみに含まれるアカウント (free のみ - シングル テナント)
☒ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント)
☐ 任意の組織ディレクトリ内のアカウント (任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント) と個人の Microsoft アカウント (Skype, Xbox など)
☐ 個人用 Microsoft アカウントのみ

選択に関する詳細...

続行すると、Microsoft プラットフォーム ポリシーに同意したことになります 。

登録

ホーム > free > Workplace Awards

Workplace Awards

検索 (Ctrl+F) << 削除 エンドポイント

概要

クイック スタート
統合アシスタント (プレビュー)

管理
ブランド
認証
証明書とシークレット
トークン構成
API のアクセス許可
API の公開

基本
表示名
Workplace Awards
アプリケーション (クライアント) ID
e91c551b-8a74-4878-8246-76f035ae64f8
ディレクトリ (テナント) ID
2d48a0d9-ca71-4f8d-8349-9a8e7ba54b02
オブジェクト ID
6df63002-f04c-465e-a8be-8923008eeba4

サポートされているアカウントの種類
接続の組織
リダイレクト URI
リダイレクト URI を追加する
アプリケーション ID の URI
アプリケーション ID URI の追加
ローカル ディレクトリでのマネージド
Workplace Awards

新しく強化されたアプリの登録へようこそ。アプリの登録 (リガシ) からの変更点を確認することもをご希望ですか? 詳細

* 無題 - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

e91c551b-8a74-4878-8246-76f035ae64f8

1 行、37 列 100% Windows (CRLF) UTF-8

3-3. クライアントシークレットの作成

1. 左のメニューから「証明書とシークレット」をクリックする。

ホーム > free > Workplace Awards

Workplace Awards

検索 (Ctrl+F) << 削除 エンドポイント

概要

クイック スタート
統合アシスタント (プレビュー)

管理
ブランド
認証
証明書とシークレット
トークン構成
API のアクセス許可
API の公開

基本
表示名
Workplace Awards
アプリケーション (クライアント) ID
e91c551b-8a74-4878-8246-76f035ae64f8
ディレクトリ (テナント) ID
2d48a0d9-ca71-4f8d-8349-9a8e7ba54b02
オブジェクト ID
6df63002-f04c-465e-a8be-8923008eeba4

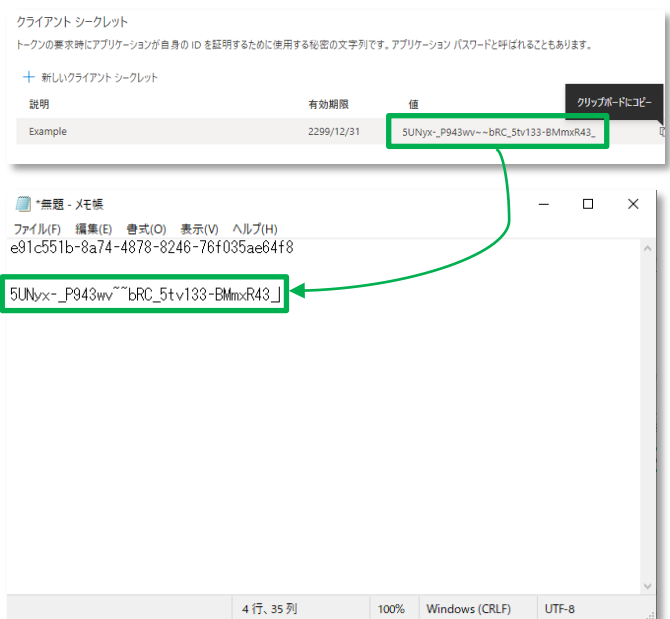
新しく強化されたアプリの登録へようこそ。アプリの登録 (リガシ) からの変更点を確認することもをご希望ですか? 詳細

2. クライアントシークレットから「新しいクライアントシークレット」をクリックする。



3. 「説明」に任意の文字列を入力し、「有効期限」は「なし」を選択する。「追加」をクリックする。

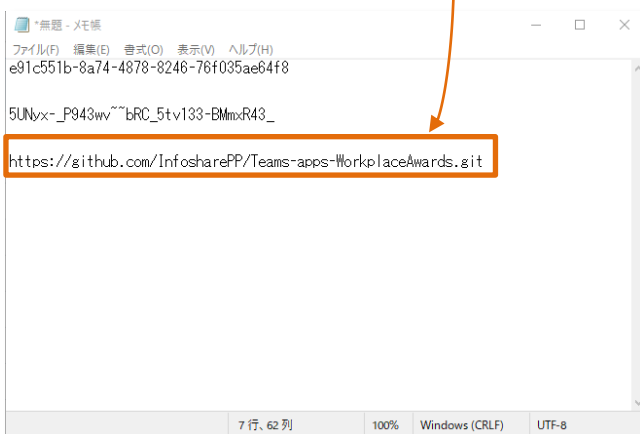
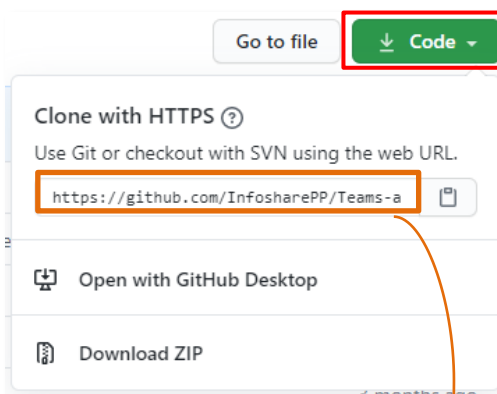
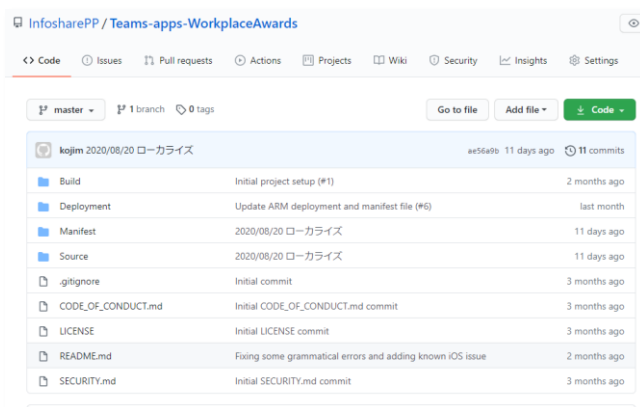
4. 作成されたクライアントシークレットの値をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。（後の手順で使用する。）



3-4. カスタムデプロイ

1. <https://github.com/OfficeDevJp/microsoft-teams-apps-workplaceawards> にアクセスする。

2. 「Code」をクリックしメニューを開き、「Clone with HTTPS」の **Git** をコピーし、メモ帳などに張り付けておく。（後の手順で使用する。）



3. <https://portal.azure.com/#create/Microsoft.Template/uri/https%3A%2F%2Fraw.githubusercontent.com%2FOfficeDev%2Fmicrosoft-teams-apps-workplaceawards%2Fmaster%2FDeployment%2Fazuredeploy.json> にアクセスする。



4. カスタムデプロイ画面で下記の入力を行う。

リソースグループ:

[3-1.リソースグループを作成する]で作成したリソースグループ

Base Resource Name: 任意の名前

※後の手順で使用します。忘れないように記録してください。

Bot Client ID:

アプリケーション(クライアント)ID

([3-2.アプリを登録する]でコピーしたもの)

※アプリケーション(クライアント)ID は後の手順で再度使用するので、メモに残しておくことをお勧めします。

Bot Client Secret:

クライアントシークレットの値

App Display Name: 任意のアプリ表示名

Git Repo Url:

Git([3-4.カスタムデプロイ]の上の手順でコピーしたもの)

Git Branch:

「master」を「**main**」に書き換える。

5. 「確認及び作成」→「作成」とクリックする。

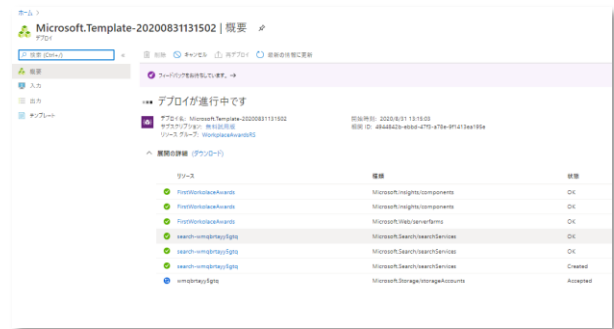
6. デプロイが開始される。通知を開き「デプロイを実行しています」をクリックすると、進行中のデプロイ詳細画面に移動する。

※デプロイにはクラウドの状況によって 30 分～数時間かかることがあります。画面を離れてもデプロイ

は進行しますが「キャンセル」をクリックするとデプロイが中止されます。

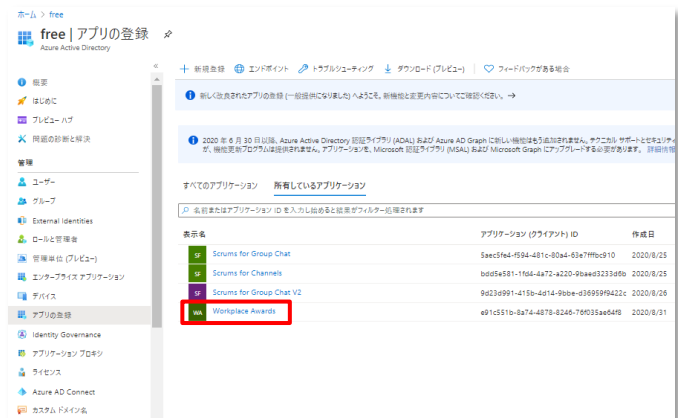
7. デプロイが完了する。

※デプロイに失敗した場合は、[\[4.デプロイが失敗したときのやり直し手順\]](#)を参照し、再度デプロイを実行してください。

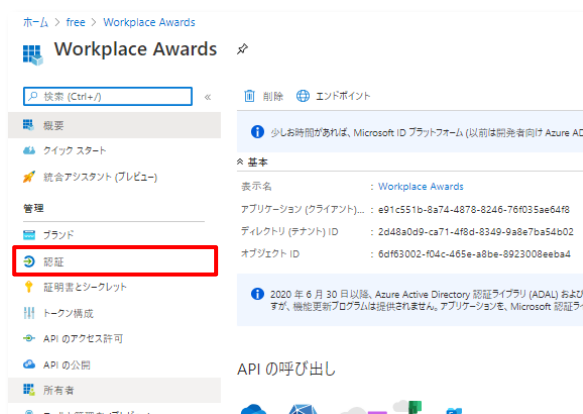


3-5. 認証の設定

1. Microsoft Azure のホーム画面から「Azure Active Directory」→「アプリの登録」と進み、アプリの登録画面で[\[3-2.アプリの登録\]](#)で作成したアプリをクリックする。



2. 左のメニューからの「認証」をクリックする。



3. 「任意の組織ディレクトリ内のアカウント（任意の Azure AD ディレクトリ - マルチテナント）」を選択し、「プラットフォームの追加」をクリックする。



4. プラットフォームの構成で「Web」をクリックする。



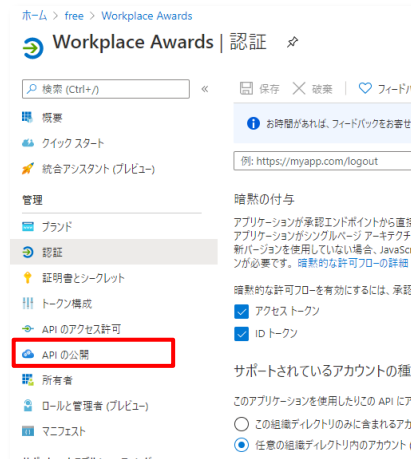
5. リダイレクト URI に「https://[BaseResourceName].azurefd.net/signin-simple-end」と入力し、「構成」をクリックする。



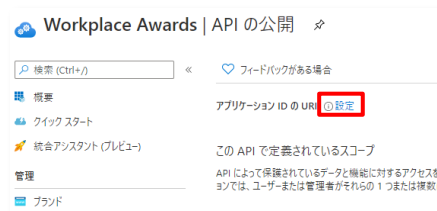
6. 「暗黙の付与」の「アクセストークン」と「ID トークン」にチェックを入れ、「保存」をクリックする。



7. 左のメニューから「API の公開」をクリックする。



8. アプリケーション ID の URI で「設定」をクリックする。



9. アプリケーション ID の URI を「api://{BotId}」から「api://{BaseResourceName}.azurefd.net/{BotId}」に変更し、「保存」をクリックする。



10. 「Scope の追加」をクリックする。



11. 下記の入力を行い、「スコープの追加」をクリックする。

スコープ名：

access_as_user

同意できるのは誰ですか？：

管理者とユーザー

管理者の同意の表示名：任意の表示名

管理者の同意の説明：任意の説明

ユーザーの同意の表示名：任意の表示名

ユーザーの同意の説明：任意の説明

※右の画像を参考に入力してください。

状態：有効

12. 「クライアントアプリケーションの追加」をクリックする。

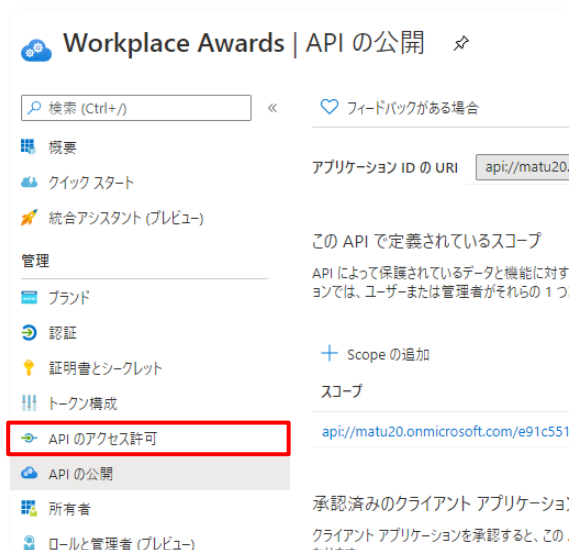


13. 下記の GIUD を「クライアント ID」に入力し、「承認済みのスコープ」にチェックを入れ、「アプリケーションの追加」をクリックする。2 つ目の GIUD について同じ手順を繰り返す。

- 1fec8e78-bce4-4aaf-ab1b-5451cc387264
(Teams mobile/desktop application)
- 5e3ce6c0-2b1f-4285-8d4b-75ee78787346
(Teams web application)

+ クライアント アプリケーションの追加	
クライアント ID	スコープ
1fec8e78-bce4-4aaf-ab1b-5451cc387264	1
5e3ce6c0-2b1f-4285-8d4b-75ee78787346	1

14. 左のメニューから「API のアクセス許可」をクリックする。



15. 「Microsoft Graph」をクリックする。

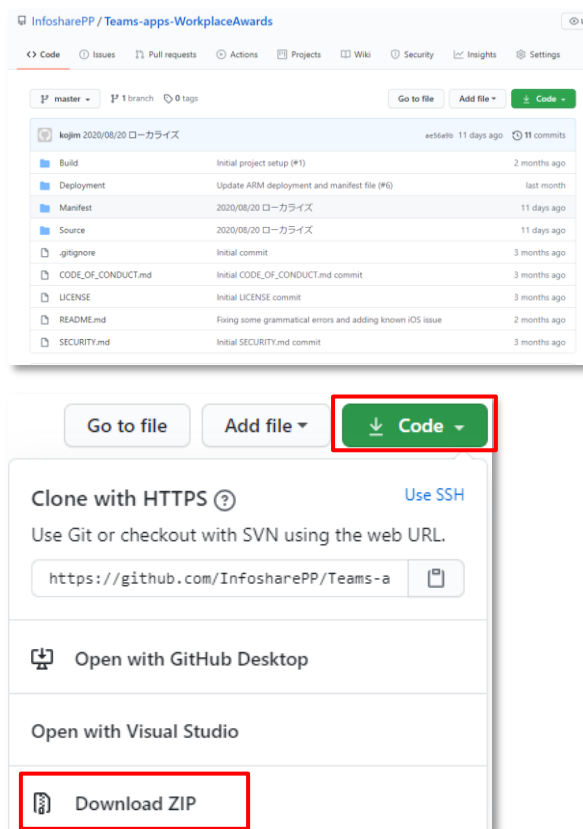


16. 「委任されたアクセス許可」をクリックし、アクセス許可の「email」「office_access」「openid」「profile」にチェックを入れ、「アクセス許可の更新」をクリックする。



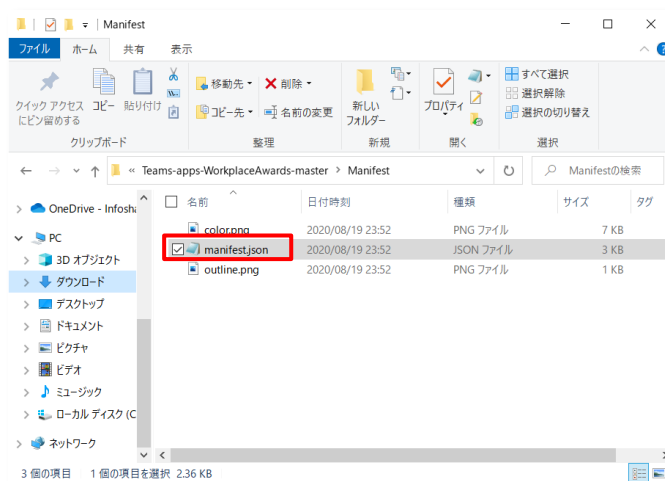
3-6. Zip ファイルのダウンロード

1. <https://github.com/OfficeDevJp/microsoft-teams-apps-workplaceawards> にアクセスする。
2. 「Code」をクリックしメニューを開き、「Download ZIP」をクリックする。ダウンロードが開始される。



3-7. manifest.json の書き換え

[3-6. Zip ファイルのダウンロード]でダウンロードしたファイルを展開し、¥Teams-apps-WorkplaceAwards-master¥Manifest に置かれた manifest.json を任意のツールで開く。



<<Developer name>>を企業名に書き換える。

<website url>を任意の URL に書き換える。（企業のホームページ URL など）

<privacy url>を任意の URL に書き換える。（企業で取り決めているプライバシー規約など）

<term of use url>を任意の URL に書き換える。（企業で管理している利用規約など）



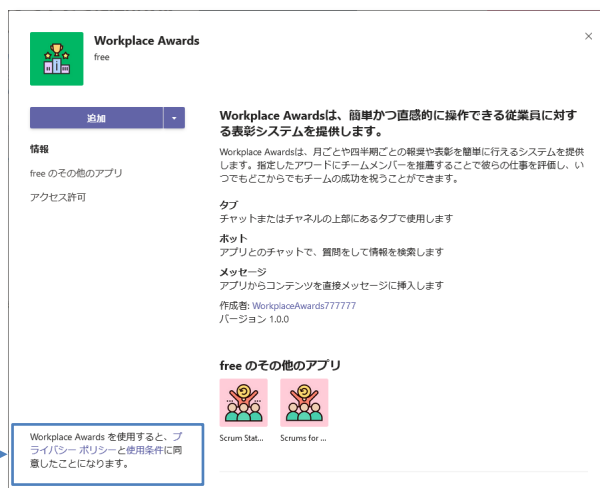
```
manifest.json - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)
{
  "$schema": "https://developer.microsoft.com/en-us/json-schemas/teams",
  "manifestVersion": "1.5",
  "version": "1.0.0",
  "id": "d3584887-d29c-4bfa-a14c-5066ae7c010a",
  "packageName": "com.microsoft.teams.apptemplates.workplaceawards",
  "developer": {
    "name": "<<Developer name>>",
    "websiteUrl": "<website url>",
    "privacyUrl": "<privacy url>",
    "termsOfUseUrl": "<terms of use url>"
  },
  "icons": {
    "color": "color.png",
    "outline": "outline.png"
  }
}
```



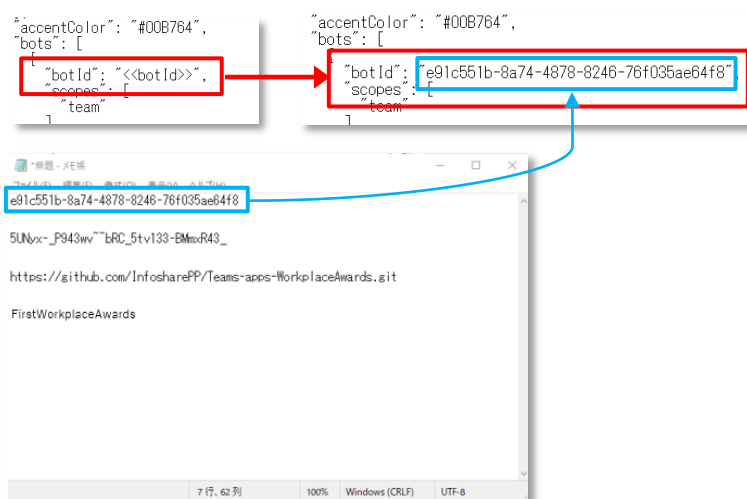
```
manifest.json - メモ帳
{
  "packageName": "com.microsoft.teams.apptemplates.workplaceawards",
  "developer": {
    "name": "Microsoft Japan Company Limited.",
    "websiteUrl": "https://www.microsoft.com/ja-jp",
    "privacyUrl": "https://www.microsoft.com/ja-jp",
    "termsOfUseUrl": "https://www.microsoft.com/ja-jp"
  },
  "icons": {
    "color": "color.png"
  }
}
```

<Microsoft Teams へのアップロード後の画面>

※URL はアプリを Microsoft Teams にアップロードした後にリンクとして表示されるもので、Workplace Awards アプリの機能そのものには影響がありません。特になければ、企業のホームページの URL などを入力して進めることができます。



<<botId>>を[アプリケーション\(クライアント\)ID](#)([\[3-2.アプリを登録する\]](#)でコピーしたもの)に書き換える。



```
manifest.json - メモ帳
{
  "accentColor": "#00B764",
  "bots": [
    {
      "botId": "<<botId>>",
      "scopes": [
        "team"
      ]
    }
  ]
}
```

5UNyx-_P943wv~~bRC_5tv133-BMmxR43_

https://github.com/InfosharePP/Teams-apps-WorkplaceAwards.git

FirstWorkplaceAwards

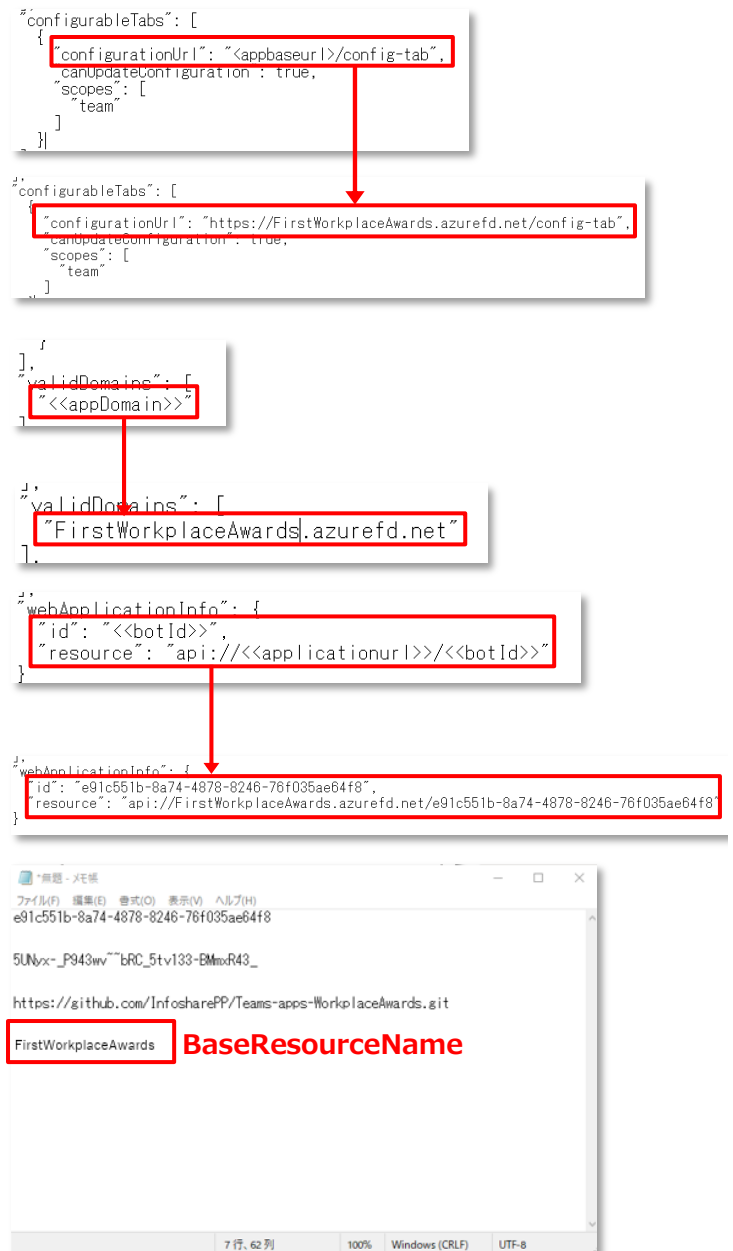
7 行, 62 列 100% Windows (CRLF) UTF-8

<appbaseUrl>を
「https://**BaseResourceName**.azurefd.
net」に書き換える。

<<appDomain>>を
「**BaseResourceName**.azurefd.net」
に書き換える

最下部の<<botId>>を**アプリケーション(クライアント)ID**([\[3-2.アプリを登録する\]](#)でコピーしたもの)に書き換え、

api://<<applicationurl>>/<<botId>>
を
api://**BaseResourceName**.azurefd.net
/**アプリケーション(クライアント)ID**
に書き換える。

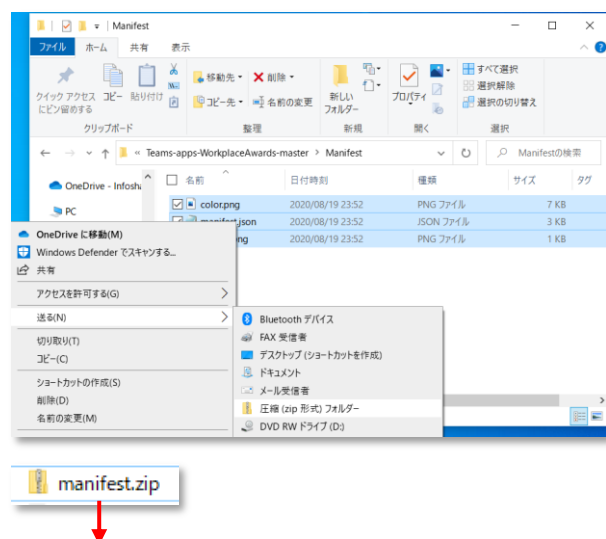


<<botId>>はすべてで 4 か所書き換える部分があります。

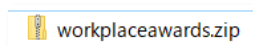
ファイル内の<>で括られた箇所を残らず書き換えたことを確認したら manifest.json を保存し、manifest フォルダ内の下記 3 ファイルを Zip パッケージに圧縮する。

- color.png
- manifest.json
- outline.png

アップロード用に編集したものとわかるように、圧



縮した Zip パッケージの名前を
"workplaceawards.zip"に変更する。



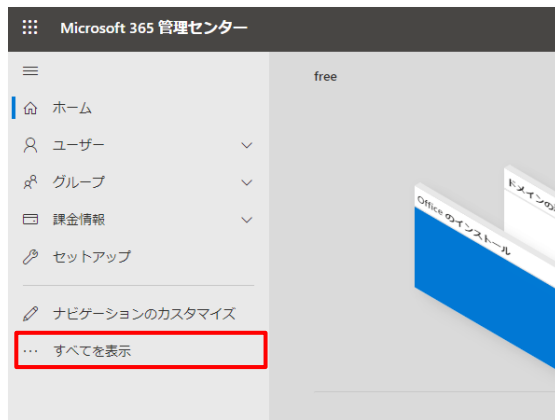
3-8. Microsoft Teams へのアップロード

Workplace Awards のアプリを Microsoft Teams にアップロードする方法は下記の 2 通りあります。

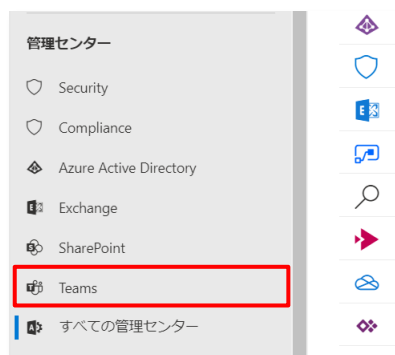
- Microsoft Teams 管理センターからアップロードする
- Microsoft Teams クライアントアプリまたは Web アプリからアップロードする

① Microsoft Teams 管理センターからアップロードする

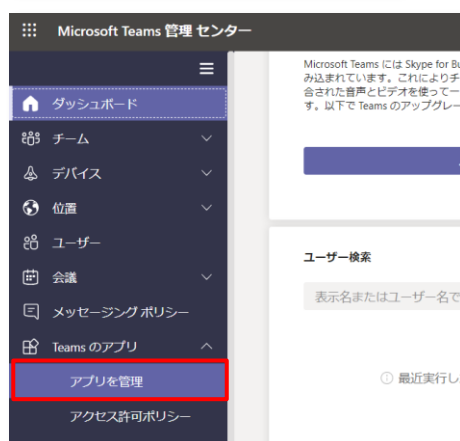
1. Microsoft 365 管理センターにアクセスし、「すべてを表示」をクリックする。



2. 管理センターで「Teams」をクリックする。



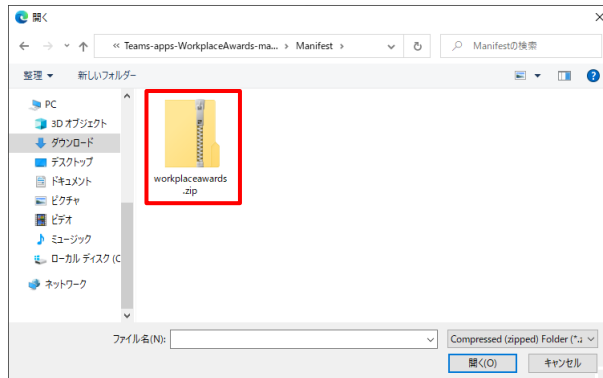
3. Teams のアプリから「アプリを管理」をクリックする。



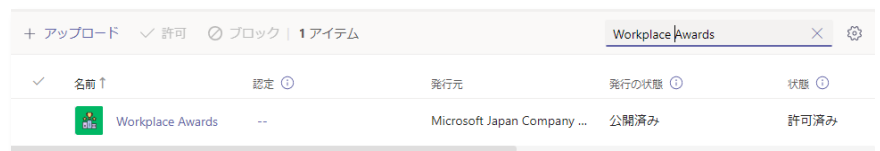
4. 「アップロード」をクリックし、ダイアログが開いたら「ファイルの選択」をクリックする。



5. [\[3-7.manifest.json の書き換え\]](#) で作成した "workplaceawards.zip" を開く。

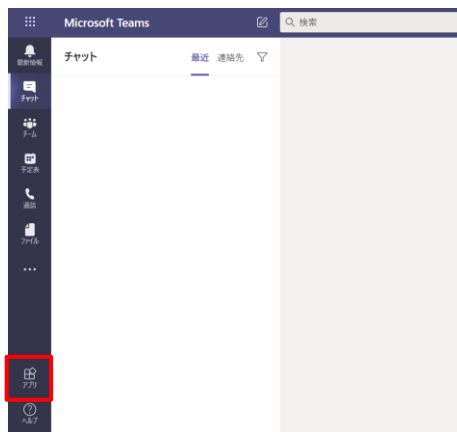


アップロードが開始される。完了後にアプリの一覧で検索すると、アップロードされた Workplace Awards のアプリが表示される。

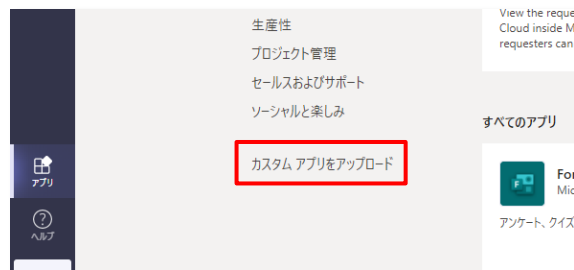


② Microsoft Teams クライアントアプリまたは Web アプリからアップロードする

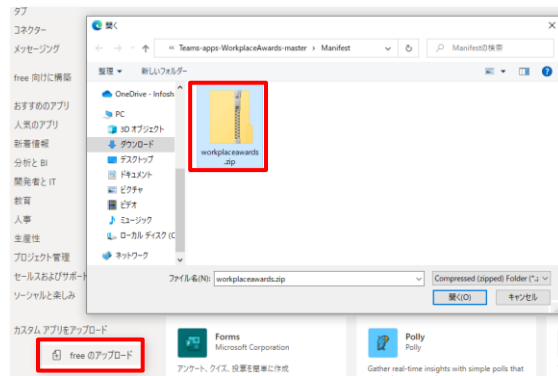
1. Microsoft Teams を起動し、「アプリ」をクリックする。



2. アプリの一覧を下へスクロールし、「カスタムアプリをアップロード」をクリックする。



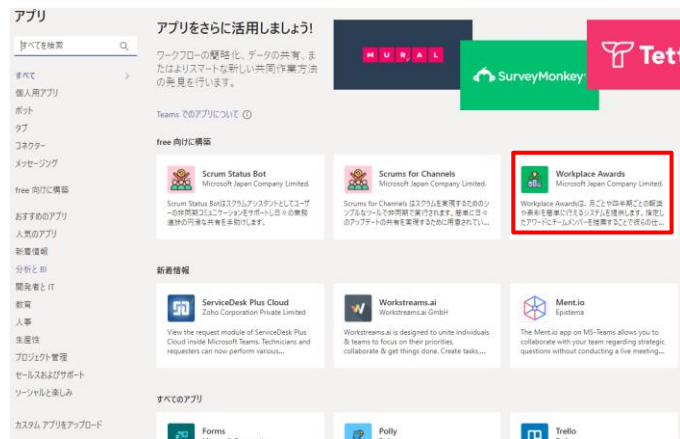
3. 「[組織名]のアップロード」をクリックし、[3-7.manifest.json の書き換え]で作成した“workplaceawards.zip”を開く。



4. 「Workplace Awards」が Microsoft Teams にアップロードされる。

※アップロード直後は

Workplace Awards のアイコンが表示されないことがあります。



3-9. チャンネルへの追加

ここまでの手順で Workplace Awards は Microsoft Teams 組織内で使用できる状態になりました。

各ユーザーがチャンネル上で Workplace Awards を使用するには、チームに Workplace Awards 追加する必要があります。チャンネルに Workplace Awards を追加する手順は、各ユーザーが実行する内容であるため[Microsoft Teams Workplace Awards 利用者ガイド]に記載されていますのでご確認ください。

4. デプロイが失敗したとき場合の対処

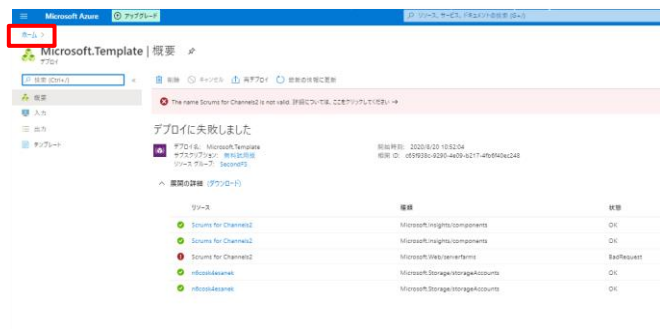
[3-4.カスタムデプロイ]でデプロイが失敗した場合の対処を説明します。

デプロイが失敗した場合、やり直しの前にリソースグループをクリーンアップし、アプリを削除してから再度作成する必要があります。やり直しの準備として行う作業は下記のとおりです。

※「再デプロイ」をクリックするとカスタムデプロイ画面に戻り、同じ設定で再デプロイができます。再デプロイは問題なく成功することが多いですが、このまま展開を続けても Teams 上にアプリをアップロードしたときにうまく動作しません。再デプロイせずに、下記のやり直し作業を行い、最初のデプロイで成功してから以降の手順へ進んでください。

※この手順では、例として[SecondRS]というリソースグループに作成した「Scrums for Channels2」というアプリのデプロイに失敗した場合の手順を示します。

1. 「ホーム」をクリックする。



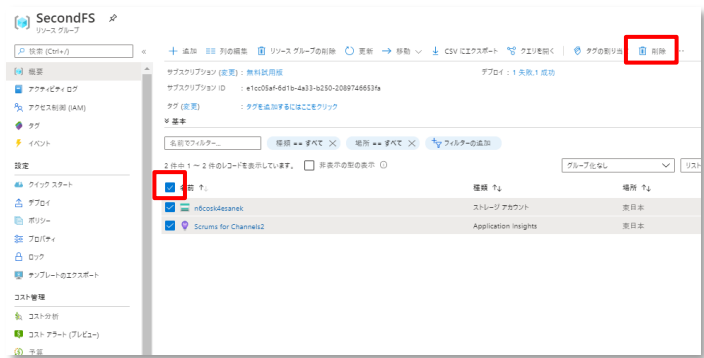
2. 「リソースグループ」をクリックする。



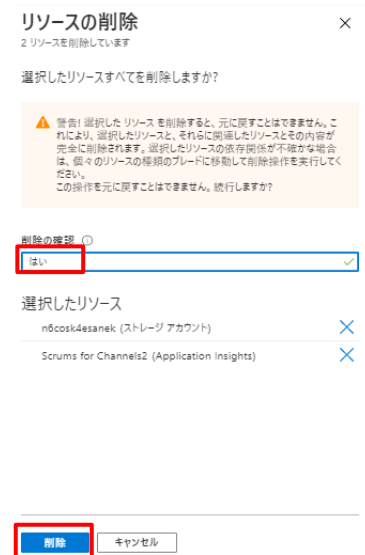
3. 「SecondRS」（削除するリソースグループ）をクリックする。



4. 「名前」の左のチェックボックスをチェックし、すべてのリソースが選択されたことを確認したら、「削除」をクリックする。



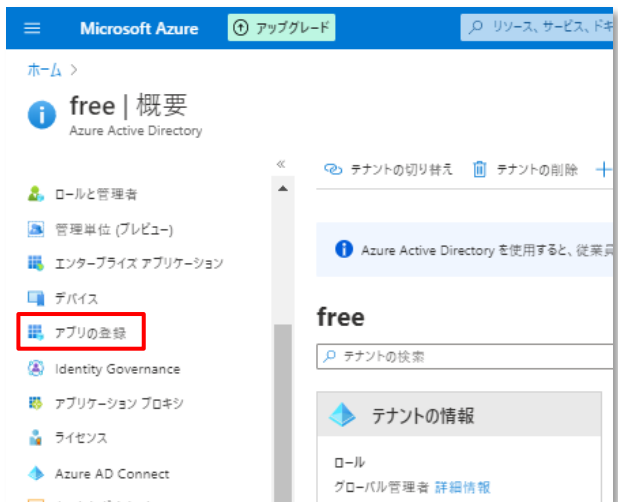
5. 削除の確認に「はい」と入力し、「削除」をクリックする。削除が実行される。



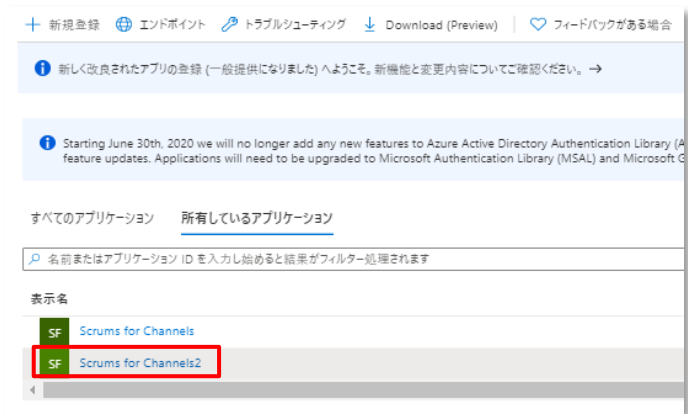
6. ホームに戻り「Azure Active Directory」をクリックする。



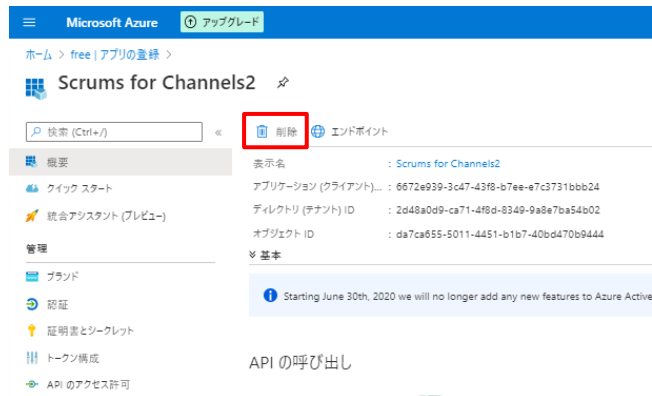
7. 「アプリの登録」をクリックする。



8. 「Scrums for Channels2」（削除するアプリ）をクリックする。

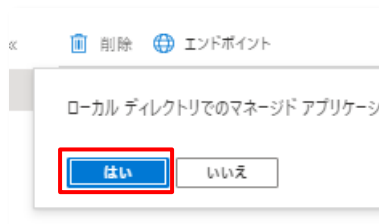


9. 「削除」をクリックする。



10. 「はい」をクリックする。アプリの削除が開始される。

アプリが削除されたらやり直しの準備が完了する。[\[3-2.アプリの登録\]](#)からの手順を再度実行する。



5. よくある質問

質問	回答
やり直しをしてもカスタムデプロイが失敗しますが、どんな原因が考えられますか？	<p>手順でコピー & ペーストのミスなどをしていないか確認してください。手順に間違いがない場合、エラーのステータスを確認し、下記リンクを参照のうえエラーの原因を取り除きます。</p> <p>Azure Resource Manager を使用した Azure へのデプロイで発生する一般的なエラーのトラブルシューティング：</p> <p>https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/azure-resource-manager/templates/common-deployment-errors#find-error-code</p> <p>エラーの原因を取り除いてもデプロイに失敗する場合、またはエラーの原因がわからない場合は、Azure クラウドの状況によってデプロイが失敗していることが考えられます。しばらく時間を置くなどして再度実行してください。繰り返しデプロイが失敗する場合は、リソースグループのリージョン（場所）を「(US)米国西部 2」に設定し作り直してデプロイを実行してください。（リージョン変更によるアプリへの影響はありません。）</p> <p>以上の対応をしてもなおデプロイが繰り返し失敗する場合は、Microsoft の担当者にお問い合わせください</p>
カスタムデプロイが実行中のまま進行しません。	クラウドの状況によってカスタムデプロイには数十分～数時間かかることがあります。デプロイの実行がフリーズしていない様子であればしばらくお待ちください。
クライアントシークレットの値が伏せ字になってコピーできません。	クライアントシークレットの値は一度ページを離れると伏せ字になります。クライアントシークレットを削除し、再度作り直してすぐにクライアントシークレットをコピーしてメモ帳にペーストするなどして保存してください。
Teams への Zip ファイルのアップロードが失敗します。	Manifest.json ファイルの書き換えに問題があったことが考えられます。“<”の消し忘れや、書き換え忘れの箇所がないか確認してください。